

神奈川の道德

日本道德教育学会
神奈川 支部
平成28年6月6日発行
第8号

日本道德教育学会神奈川支部「道德フォーラム2016」開催

テーマ：今求められる道德科への課題～問題解決的な学習で創る道德授業～

平成28年4月23日（土）、國學院大學たまプラーザキャンパス1号館102教室にて、日本道德教育学会神奈川支部「道德フォーラム2016」が開催されました。例年行っている「総会」を「道德フォーラム」と銘打って行い、40名以上の参加がありました。

第I部の平成28年度総会において、田沼茂紀支部長が挨拶し、4年目を迎える神奈川支部が「地域に根付いた」活動ができていることに感謝の意を表しました。議事では、「平成27年度事業報告」「平成27年度会計報告・会計監査報告」「平成28年度事業計画案」「平成28年度予算案」がそれぞれ承認され、その後、役員紹介がありました。



第II部はテーマを「今求められる道德科への課題～問題解決的な学習を創る道德授業～」として、実践報告と記念講演を行いました。はじめに支部研究テーマについて富岡栄理事より説明がありました。昨今叫ばれている道德科での問題解決的な学習を実際の指導でどのようにしていくのか、それを大きな課題として神奈川支部では考えていくことを確認し

ました。実践報告では、櫻井雅明先生（藤岡市立鬼石中学校教頭）から「問題意識から創る主体的な道德学習の構想」と題して藤岡市立美九里東小学校の実践が紹介されました。子ども自ら問題意識を生み出す学習モデルの提案がありました。次に南雲和子先生（川崎市立中原中学校総括教諭）から「体験活動との関連を図った道德の時間」と題して、地区防災訓練等の防災にかかわる体験活動と関連させながら進めた生命尊重を扱った道德の時間の学習について報告がありました。

記念講演は、柳沼良太先生（岐阜大学大学院教育学研究科准教授、中央教育審議会道德教育専門部会委員）をお呼びして、研究テーマの内容に合わせてお話を伺いました。道德の授業において、アクティブ・ラーニングに対応した指導を進めていくにあたり、問題解決的な学習の授業展開や発問について事例を挙げながら説明してくださいました。「多面的・多角的に考えるためには」「話し合い活動を充実していくためには」「体験的な学習を活用するとは」など、まさに今、課題となり、議論されている内容を盛り込んだ講演で、1時間半があつという間に感じてしまうほど充実したお話でした。

「道德フォーラム2016」の内容につきまして詳しくは、神奈川支部ホームページをご覧ください。

【神奈川支部ホームページアドレス】

<http://www.doutokukanagawa.com/>



第11回学習会

神奈川支部による学習会も次で11回を数えるようになりました。支部会員に限らず、広く道德教育に関心をもたれている方を対象に行います。今回は木村元彦先生（神奈川支部理事、中井町立中村小学校長）を講師として開催いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

【日時】平成28年9月3日（土）
15:00～16:30

【場所】國學院大學たまプラーザキャンパス（詳しい場所は当日の標示をご覧ください）